

一般社団法人日本セーフティパドリング協会

# 2026 年度事業計画

一般社団法人 日本セーフティパドリング協 理事会

2026 年 1 月 1 日

## 『パドルプライド』

JSPA は、「我が国における安全なパドルスポーツの普及を図り、自然環境との調和的活用を高め、もって健全な心身の発達に寄与することを目的とします」改めて協会の理念を共有させていただくと、40年近くたった今でもぶれていないことに気が付きます。

2025 年は地政学的リスクやランプ関税、円安で振り回されたりと、私たちの事業にも影響が出てきています。刻々と 変わるニーズに対応するために、パドルスポーツ本来の楽しみ〈一次的価値〉だけでなくパドルスポーツに付随 する楽しみ〈二次的価値〉の両輪で提供していくことでファンを増やしていくことが大事だと思います。私たちは活動する地域に貢献し志を持って行動すること、自社の成長を果たすことが重要になっています。  
(シビックプライド)

パドルスポーツの指導者育成団体として 37 年培った私たちは、新たな技術や知見を取り入れ、柔軟な対応力で前進していきましょう。日本のパドルスポーツ指導者団体として一歩先を行く価値を創造し、成長し続けるプロ集団として JSPA は歩んでまいります。

### 【推進のための活動項目（ビジョン実現に向けた 5 つの約束）】

#### ・責任ある会員増強

昨今インストラクターを名乗る方たちのツアーでも事故が多発しております。わが協会では、数多くの質の高いインストラクター、ガイドを育成し、その人材の豊かさと優れた指導法で、業界をリードしていきます。

#### ・安全活動の普及

全国各地にて一般向けの安全普及に関するイベント、「セーフティ&レスキュープログラム (SRP)」を開催いたします。安全に関心を持てるパドラーを増やすことで事故を減らしていきます。

#### ・JSPA の認知度向上

わが協会の認知度を向上させることにより、パドリングインストラクター、ガイドの価値を向上させます。

#### ・協会運営の強化

会員や委員会からの積極的な意志を尊重し、会員の自発的参加を基本にします。

我々は海、川、内水面でのパドリング活動を種目の垣根を超え、これまで以上に長期的な視点に立って、多様性、環境保全に配慮した柔軟かつ大胆な活動を会員同士が同じ目的の実現をめざし力をあわせていきます。

#### ・感動と喜びを

パドリングを通じ、人々が豊かさと幸福を実感できる、持続可能な未来社会の実現に貢献します。

2026 年 2 月吉日

一般社団法人 日本セーフティパドリング協会  
代表理事 山口 浩也

## 2026 年度活動方針

- 西日本の会員増強策を継続
- 関連する法人事業者へのアプローチ：オンラインセミナーの開催
- 行政主導の資格制度への対応
- 正会員増強：オンラインセミナーの開催
- 事前講習を協会 HP で告知可能にする
- 国立公園オフィシャルパートナー登録
- AI 対策
- 業務効率化（申請書類の処理、決済システムのデジタル化、オンライン化）
- 会員研修会を積極的に開催できるガイドの育成
- 協会主導のベーシック検定会や事前講習会の開催

## 理事会・委員会事業

### 理事会

2023 年度から再開した官公庁等や OTA への渉外業務を継続して行います。自治体が主導するアクティビティの資格制度が増えているので、情報を収集し、互換資格に採用してもらえるための意見交換をし、会員の利益に資するようなシステム作りを行います。官公庁への強化の認知のための訪問も引き続き行います。公認スクールの増加のための西日本エリアへの強化を進めます。

○定期理事会 6 月、1 月

○三役会議 5 月、11 月

○渉外業務

海上保安庁、UMI 協議会、国交省舟艇室、北海道庁、沖縄カヤックガイド協会

旅行会社本社、環境省、観光庁、スポーツ庁、消費者庁 他関連官庁、団体、OTA

○地域ブロックでの会員研修会開催に向けた IT の紹介や告知などのサポート

○一般愛好者向けの全国 10 箇所での SRP 講習会のサポート

## 教育普及委員会

### ■構成員

- 担当理事 : 野田 (Verde 大台ツーリズム)
- 委員長 : 松澤 (支笏湖ガイドハウスかのあ)
- 委員 : 安藤 (PADDLERS)、山本 (Kiaora paddle)
- : 中野 (なかのカヤック) 、中村 (一滴 Paddle & Mountain Guide)
- : 嘉藤 (BLUE HOLIC Sea Kayak St.) ※JSPA 救急法担当

### ■活動予定

- 検定会開催に関わる書類審査
- 検定会開催後の書類審査
- 研修会開催に関わる書類審査
- 研修会開催後の書類審査
- 更新単位制度の検討
- ベーシック制度とアドバンスト制度改変の検討
- 検定会申請用紙の効率化
- IT 選考会の運営

### ■検定会開催予定

アドバンストインストラクター課程 3 会場

ガイド課程 リバー、シー

## 安全対策委員会

### ■構成員

- 担当理事 : 中村 (一滴 Paddle & Mountain Guide)
- 担当理事 : 森井 (SAVE BLEU)
- 委員長 : 村上 (Towadako Guidehouse 権)
- 委員 : 佐野 (Nature Land Kayaks)、飯山 (笹川流れカヤックセンター)
- 澤木 (パドル屋)

### ■活動予定

- 協会内の事故報告の集計と共有
- 協会内のヒヤリハット・小事故報告の集計と共有
- 新規公認スクール開設申請の審査
- 継続申請の審査
- 公認スクール変更届の受理
- 正会員及び一般会員登録変更届の受理
- 既存公認スクールの運行規程の確認
- カヌーワールド誌 リスクマネジメント教室の執筆者選出
- 協会 HP 公認スクール一覧の各事業者の取得資格及び業務表記 (アイコン) の集計および広報委員会への提出
- 公認スクールの継続申請作業の簡略化

## 広報委員会

### ■構成員

- 担当理事 : 堀川 (パドルクエスト パドリングスクール)  
: 高田 (パドル屋)
- 委員長 : 楠 (フラットフラット)
- 委員 : 東野 (龍屋)、太田 (ぼちぼちアドベンチャーすその)

### ■活動予定

- JSPA 安全啓蒙冊子作成
- JSPA HP
  - ✓ 行政向けページ作成
  - ✓ 「インストラクター/ガイドになるためには」ページの独立
  - ✓ 公認スクール所有資格欄更新
  - ✓ 環境保全ツアーのページ掲載
- 新規公認スクールを反映させた JSPA パンフレット/HP
- 検定会の様子を動画撮影し You tube チャンネルに登録
- JSPA としての情報発信 (ニュース、ブログ、SNS)
- SNS の更新
- 実績報告・アンケート集計

## 環境委員会

### ■構成員

- 担当理事 : 紺野 (アースクエスト)
- 委員長 : 森井 (SAVE BLEU)
- 委員 : 野元 (かごしまカヤックス)

### ■活動予定

- 環境配慮ツアー事業者認定事業、更新手続きの構築
- 環境ガイドラインの精査見直し
- 検定会における環境課目導入の調整 (テキスト草案作成)
- パドルスポーツと環境保全に関する啓発活動の検討 (何ができるのかを議論)
- 協会主催 LNT L1 コース 1 会場 (会場を一般会員に公募して開催)
- JSPA ホームページへの環境保全関連ページの追加

## パドルフィッシング部会

### ■構成員

- 担当理事 : 本橋 (サニーコーストカヤックス)  
委員長 : 中谷 (RAINBOW 三河湾シーカヤックスクール)  
委員 : 松永 (Kayak55.com)、石井 (Outdoor Marine)

### ■活動予定

- PFSM (パドルフィッシングセーフティミーティング) 開催
- 安全啓発パンフレット作成

## 事務局

### ■構成員

- 事務局長 : 紺野祐樹  
事務局員 : 石原、中西、ほまれの里スタッフ

### ■申請書類のオンライン化